

浄水器本体からのホースの取り外しと取り付け

★切り換えバルブからの取り外しと取り付けは裏面をご覧ください。
〈注〉ホースの取り付けは、必ず浄水器本体側を先に行ってください。

アムウェイ™ 浄水器の場合

〈取り外し〉

本体背面側が下になるよう、注意深く横にします。本体底部のL字型部分（ホース接続部）についている可動式リングを指先で押しながらホースを引き抜きます。

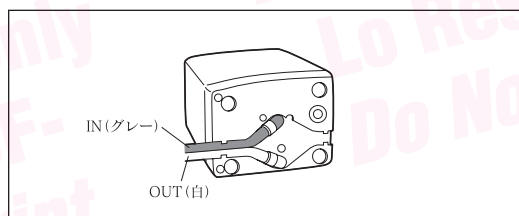
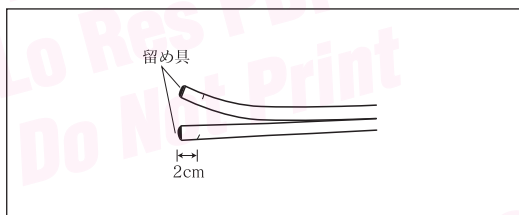
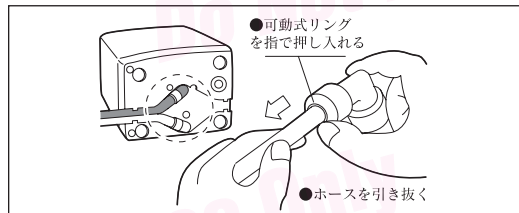
ホースが外れないときは……可動式リングが動くと、ストッパーの働きをしてホースが抜けません。抜けにくい場合は、2本のホースを交互に少しずつ引き抜いてください。

〈取り付け〉

本体底部のL字型部分をホースを取り付けたい方向に合わせます。

小さいビニール袋に入っているプラスチックの留め具（チュービングサポート）をホースの先端に差し込み、先端から約2cmの位置に印を付けます。（浄水器用切り換えバルブセットと同梱されているホースには、あらかじめ留め具が差し込まれています）

※本体側に接続するホースは切らないでください。ホースを短くする場合は切り換えバルブに接続する方を切ります。（裏面参照）



⚠ 警告*

間違えるな、危険！

ホースを正しく接続しないとフィルターの破裂につながる恐れがあります。ホースは必ず正しく接続して下さい。

グレーのホースをINと書かれたL字型部分に差し込み、しっかりと押し込みます。同様にして白のホースをOUTの部分に取り付けます。先ほど付けた2cmの印がL字型部分の可動式リングの端まで来るようそれぞれしっかりと差し込みます。



日本アムウェイ合同会社

〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町7-1

相談ホットライン

☎ 0120-123-777 (祝日・第5土曜日を除く 月～土/9:00～17:00)

携帯電話からはこちらへ 0570-064-007 (有料)

www.amway.co.jp

1019666

eSpring™ 浄水器の場合

〈取り外し〉

本体背面側が下になるよう、注意深く横にします。本体底部のL字型部分（ホース接続部）についている可動式リングを指先で押しながらホースを引き抜きます。

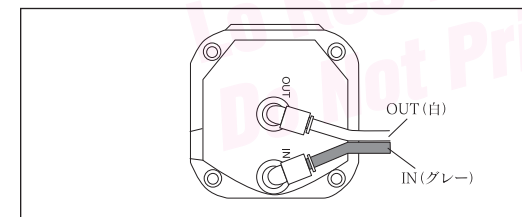
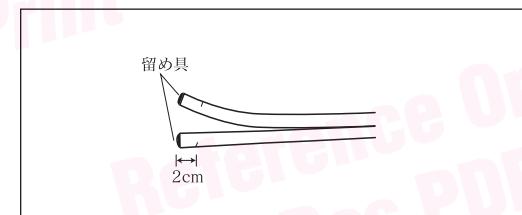
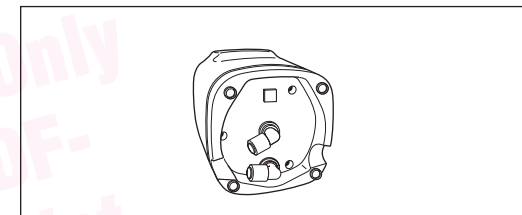
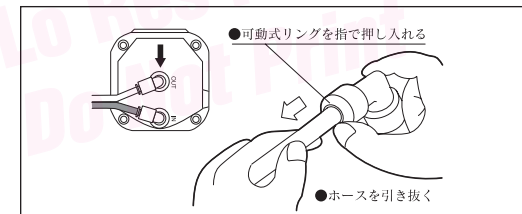
ホースが外れないときは……可動式リングが動くと、ストッパーの働きをしてホースが抜けません。抜けにくい場合は、2本のホースを交互に少しずつ引き抜いてください。

〈取り付け〉

本体底部のL字型部分をホースを取り付けたい方向に合わせます。

小さいビニール袋に入っているプラスチックの留め具（チュービングサポート）をホースの先端に差し込み、先端から約2cmの位置に印を付けます。（浄水器用切り換えバルブセットと同梱されているホースには、あらかじめ留め具が差し込まれています）

※本体側に接続するホースは切らないでください。ホースを短くする場合は切り換えバルブに接続する方を切ります。（裏面参照）



⚠ 警告*

間違えるな、危険！

ホースを正しく接続しないとフィルターの破裂につながる恐れがあります。ホースは必ず正しく接続して下さい。

本体のL字型部分にそれぞれ色を合わせて、ホースを先ほど付けた2cmの印が付いている部分まで差し込みます。

※グレーのホースがIN側、白のホースがOUT側です。

⚠ 警告*

－ホース取り付け時のご注意－

取り付けが完了したら、「切り換えバルブ」のレバーを浄水にあわせて蛇口を開け、水を流して下さい。

通常約20秒程度で浄水が出ます。もし30秒ほどたっても出ない場合はすぐに蛇口を閉め、

もう一度、ホースの「IN」「OUT」が正しく接続されているか、ご確認ください。

水が出ない状態で、蛇口を開けたままにしておくと、内部の圧力が高くなり、フィルターが破裂することがあります。それによって重大な身体的影響・物的損害を与える場合がありますのでホースの接続は必ず正しく行って下さい。

※表示の意味につきましては、本体の取扱説明書をお読み下さい。



切り換えバルブからのホースの取り外しと取り付け

★浄水器本体からのホースの取り外しと取り付けは裏面をご覧ください。
〈注〉ホースの取り付けは、必ず浄水器本体側を先に行ってください。

eSpring™ 浄水器用切り換えバルブの場合

アムウェイ™ 浄水器用切り換えバルブの場合

〈取り外し〉

切り換えバルブのホースをはずすために、まず切り換えバルブの締め付け用ナットを反時計方向に回し、蛇口から切り換えバルブを取りはずします。切り換えバルブ裏側のINとOUTのホース取り付け口に、45℃位のお湯をかけます。約1分後ホースが柔らかくなったから、切り換えバルブの取り付け口から引き抜きます。

※簡単に外れないときは、再度お湯をかけてから抜いてください。
※無理に引き抜くと、切り換えバルブの破損の原因となります。

ホースが抜けたら、ホースを付けない状態で、切り換えバルブを蛇口に取り付けます。道具を使わずに手でしっかりと締め付けます。

〈取り付け〉

ホースの長さを決めます。ホースは本体から、蛇口にそって切り換えバルブまでの長さが必要です。この段階ではホースを切り換えバルブに取り付けません。

ホースを短くする場合は、切る長さを決めて、その位置を2本のホース上にペンで印をつけます。きれいに切るために、2本のホースが接続していない部分を切ります。ハサミまたは鋭利なカッターナイフで、2本のホースが同じ長さになるよう、切り口が直角になるように切ります。

※ホースは左右にひっぱると簡単に2本に分かれます。

〈ご注意〉ホースをいったん切り換えバルブに取り付けると、ホースにお湯をかけて膨張させて抜くようになります。（膨張した部分は切り取ってから、再度取り付けます。）
取り付ける前に長さが適当かどうか必ず確認してください。

切り換えバルブにホースを取り付ける前に、各ホースの端から約1cmの位置にペンで印をつけます。（図1）

ホースの先端から約1cmの部分までを水でぬらして、差し込みやすくします。

⚠ 警告※

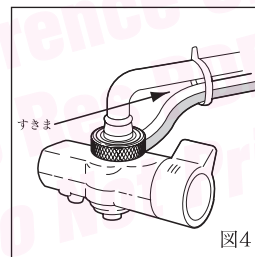
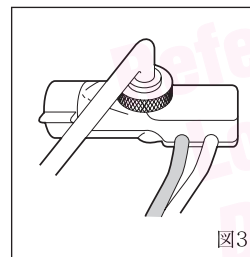
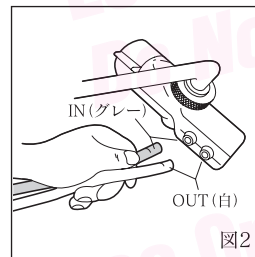
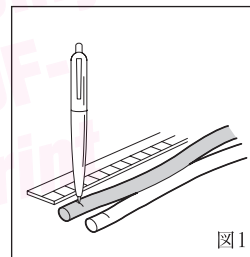
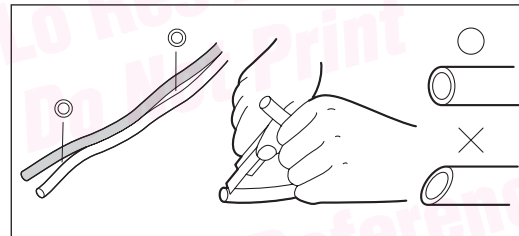
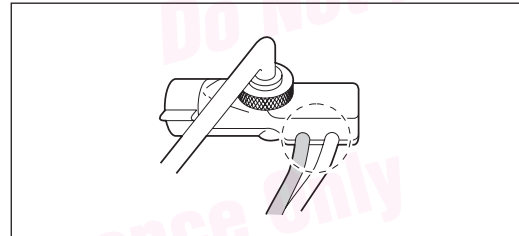
間違えるな、危険！
ホースを正しく接続しないとフィルターの破裂につながる恐れがあります。ホースは必ず正しく接続して下さい。

グレーのホースをIN側（中央側の差し込み口、差し込み口の下にINと記載あり）に、白のホースをOUT側（外側の差し込み口、差し込み口の下にOUTと記載あり）に差し込みます。（図2）

それぞれのホースを、ペンで印をつけた位置のところまでしっかりと取り付け口の中に差し込みます。（図3）

ホースを蛇口と一緒に動かせるよう、結束用ケーブルで蛇口に固定することもできます。（図4）

※混合水栓の場合、蛇口に接触させて固定すると、蛇口にお湯を通したときの熱でホースが変形したり破損することがあります。すきまをあけて結束してください。



〈取り外し〉

切り換えバルブのホース締め付けナットを外し、ホースを引き抜きます。

抜けにくい場合は……ホース締め付けナットを外してから、ホースと切り換えバルブの接続部にお湯をかけてください。ホースが膨張し、外しやすくなります。

〈取り付け〉

ホースの長さを決めます。ホースは本体から、蛇口にそって切り換えバルブまでの長さが必要です。この段階ではホースを切り換えバルブに取り付けません。

ホースを短くする場合は、切る長さを決めて、その位置を2本のホース上にペンで印をつけます。きれいに切るために、2本のホースが接続していない部分を切ります。ハサミまたは鋭利なカッターナイフで、2本のホースが同じ長さになるよう、切り口が直角になるように切ります。

※ホースは左右にひっぱると簡単に2本に分かれます。
切り換えバルブのホース締め付けナットを、新しいホースに通します。

⚠ 警告※

間違えるな、危険！
ホースを正しく接続しないとフィルターの破裂につながる恐れがあります。ホースは必ず正しく接続して下さい。

切り換えバルブのホース差し込み口にそれぞれ色を合わせて、ホースを差し込みます。

（グレーのホースを中央のグレーの差し込み口に、白のホースを外側の差し込み口に差し込みます）

※ホースの先を水でぬらすと差し込みやすくなります。

ホース締め付けナットを締めます。これでホースの取り付けが終了しました。

ホースを蛇口が一緒に動くよう、結束用ケーブルで止めることができます。

※混合水栓の場合、蛇口に接触させて固定すると、蛇口にお湯を通したときの熱でホースが変形したり破損することがあります。すきまをあけて結束してください。

⚠ 警告※

－ホース取り付け時のご注意－

取り付けが完了したら、「切り換えバルブ」のレバーを浄水にあわせて蛇口を開け、水を流して下さい。

通常約 20 秒程度で浄水が出ます。もし 30 秒ほどたっても出ない場合はすぐに蛇口を閉め、

もう一度、ホースの「IN」「OUT」が正しく接続されているか、ご確認ください。

水が出ない状態で、蛇口を開けたままにしておくと、内部の圧力が高くなり、フィルターが破裂することがあります。それによって重大な身体的影響・物的損害を与える場合がありますのでホースの接続は必ず正しく行って下さい。

※表示の意味につきましては、本体の取扱説明書をお読み下さい。

